

# アジャイルQAの現場より

## 実践事例と課題へのアプローチ



**Human Crest**

株式会社ヒューマンクレスト  
技術推進本部 磯部朋子

# 本日、持ち帰って欲しいこと

アジャイルQAの必要性

現場は千差万別

小さなステップを繰り返す

自己紹介と会社紹介

アジャイルQAの必要性

事例紹介

多国籍企業での開発とテストの改善

成長中のSaaSの開発プロセス改善

スタートアップのQA体制立ち上げ

まとめ

質疑応答

# 自己紹介

**名前** 磯部 朋子

**所属** 株式会社ヒューマンクレスト  
技術推進本部

**略歴** 1998年～ コールセンター勤務  
2007年～ 医療機器メーカーの品質保証部門勤務  
2014年～ ヒューマンクレスト入社

**業務** テストマネジメント  
テストコンサルティング  
自動テストコンサルティング  
テストエンジニア教育

**取得資格** JSTQB Foundation Level  
JSTQB Advanced Level Test Manager  
JSTQB Advanced Level Test Analyst  
Certified ScrumMaster®  
初級ソフトウェア品質技術者

**好き！**

**アーティスト** 谷山浩子

**YouTubeチャンネル** QuizKnock  
匿名ラジオ  
ゆる言語学ラジオ

**小説家** 小川一水  
有川ひろ  
小野不由美



# Human Crest

"ちゃんとうごかす"をサービスする会社です

# 会社概要

**会社名** 株式会社ヒューマンクレスト

**役員** 代表取締役：渡辺 義孝  
取締役：宮本 由布樹  
取締役：浅黄 友隆  
監査役：小滝 敏郎（税理士）

**設立** 2002年（平成14年）12月16日

**資本金** 5,150万円

**社員数** 174名（2025年1月現在）※グループ連結

**事業内容** ソフトウェアQAコンサルティングサービス事業  
ソフトウェアQAマネジメントサービス事業  
ソフトウェアQAエンジニアリングサービス事業  
ソフトウェアテストサービス事業  
アジャイルテストサービス事業  
セキュリティ脆弱性診断事業  
負荷テスト・性能テスト事業  
リグレッションテスト自動化サービス「Lynx」  
APIテスト クラウドサービス「RakAPIIt」  
テスト自動化エンジニアリング

**認証資格** ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）  
認証登録番号 IS 697634



**派遣許可番号** 派14-301985

**所在地** 横浜本社  
〒220-8126  
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1  
横浜ランドマークタワー 26階



# ヒューマンクレストグループ



Japan Quality Co., Ltd./

DADラボ（海外検証拠点）

ベトナム ダナン

16F, Da Nang Software Park,  
02 Quang Trung, Thach Thang Ward,  
Hai Chau District, Da Nang, VIETNAM



ARRANGILITY SDN. BHD.

マレーシア サイバージャヤ

Unit LG-02 & LG-03, Ground Floor,  
CoPlace 5 Block 3710, Persiaran APEC,  
Cyber 8, 63000 Cyberjaya, Selangor  
Darul Ehsan, MALAYSIA



ベトナム ダナンで  
「日本の味」が恋し  
くになったら

# アジャイルQAの必要性



# アジャイル開発チームにQAは必要なのか？

アジャイル開発チームにQA  
はいらない？

必要です!!

アジャイル・ソフトウェア・マニフェストにQA  
に関する言及なし

専門性

スクラムにQAという  
役割はなし

柔軟性

# アジャイルQAの専門性

テストや品質に関する広範な知識と、  
それを実際に適用できる技術

開発者がこれらの専門性を  
有することも不可能ではな  
いが、現実的には難しい

最新情報の  
キャッチアップも大変

## テスト技法

- 同値分割
- 境界値
- ディシジョンテーブル
- ペアワイズ
- 直交表
- 状態遷移表

## 品質の技法

- メトリクス
- モデル化
- レビュー
- 信頼性予測

## 体系・規格・標準

- SQuBok
- ISTQB
- ISO 9000
- ISO/IEC 25000シリーズ (SQuaRE)
- ISO/IEC/IEEE 29119シリーズ

# アジャイルQAの柔軟性

現場の状況やメンバーに合わせて、  
柔軟にコミュニケーションし行動する

ステークホルダーの信頼を  
得る振る舞いが必要

人が発言し行動する  
ことの意味

企画者や開発者とは  
別の視点を持つ

プロダクト

- AI
- IoT
- Web
- 組み込み

規模

開発プロセスモデル

- ウォーターフォール
- かんばん
- スクラム

業種

- 教育
- 製造
- 採用
- 医療

フェーズ

- 新規開発
- 規模拡大中
- 追加開発
- カスタマイズ
- 維持

# 事例紹介

# 事例1) 多国籍企業での開発とテストの改善

## プロダクト

- ハードウェアメーカー
- 20カ国以上に拠点
- 機器からのデータを集約するクラウドダッシュボード
- 利用は全世界
- UIは英語

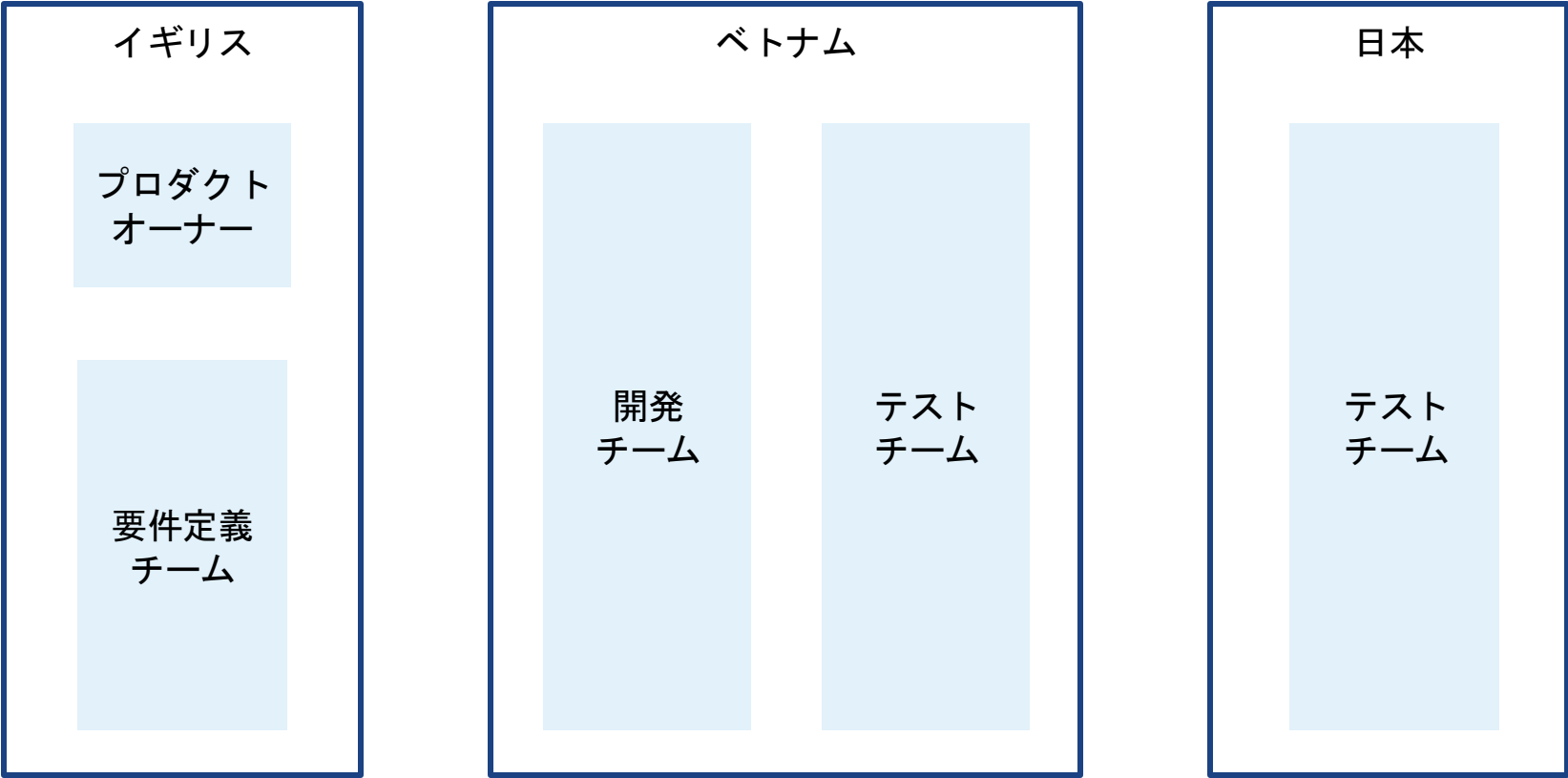
## 開発チーム

- スクラム開発
- 1スプリント2week
- テストコードあり
- チームが各国に点在
- コミュニケーションする言語が異なる複数のチーム

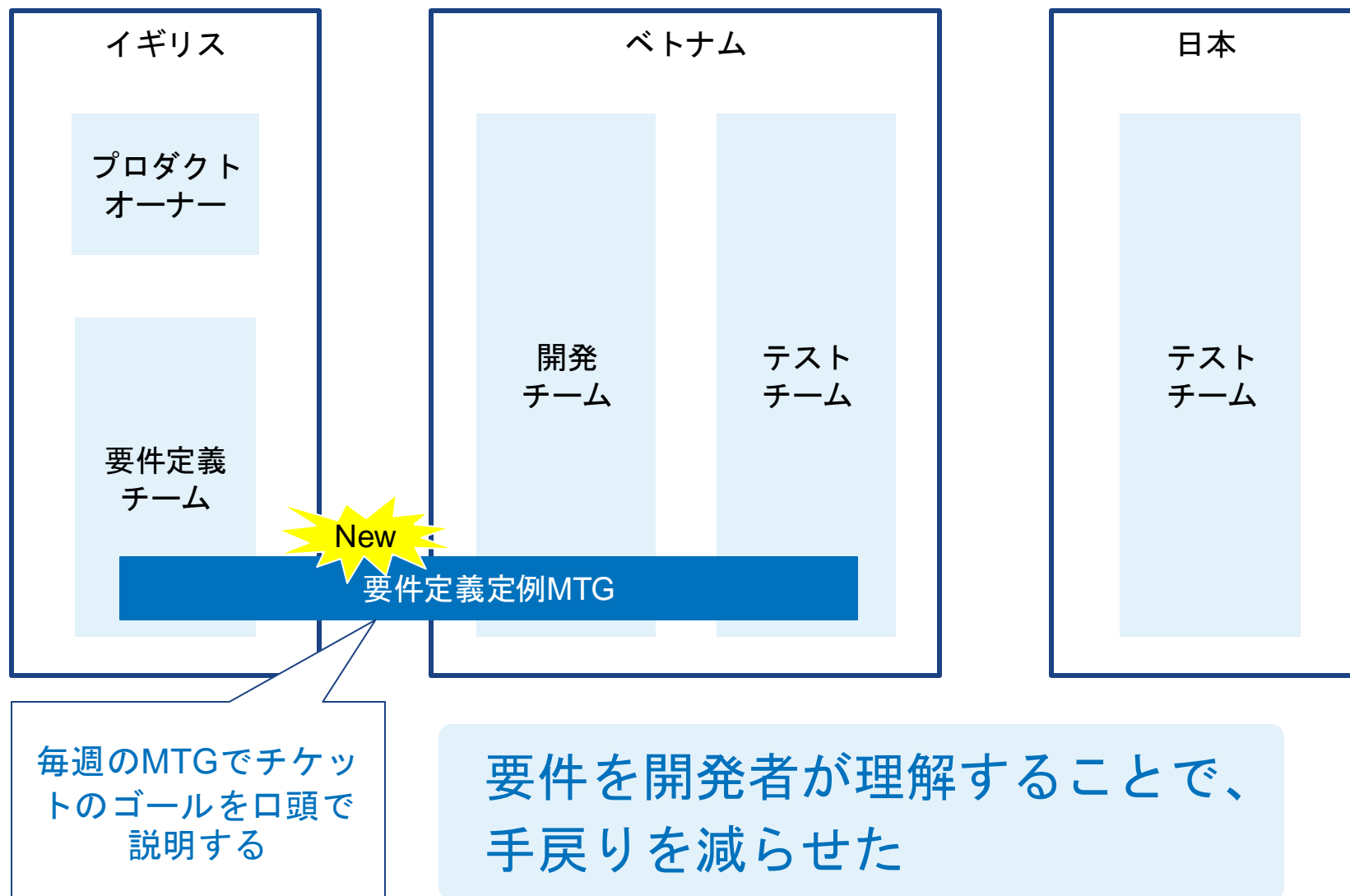
## 課題と期待

- バグが多い
- ベトナムチームのテストで見逃しが多い
- チケットの各工程での滞留時間が長い
- 自動テストをうまく保守できていない

# 対策) コミュニケーションの改善



# 対策) コミュニケーションの改善



## 事例2) 成長中のSaaSの開発プロセス改善

### プロダクト

- Web系ベンチャーの第2サービス
- SaaSのBIツール
- 導入100社以上
- サービス開始から数年経過

### 開発チーム

- 10人規模 x 4チーム
- インクリメント開発
- チームによってはスクラム導入
- 1スプリント1week
- テストコードあり
- QAに馴染みはない

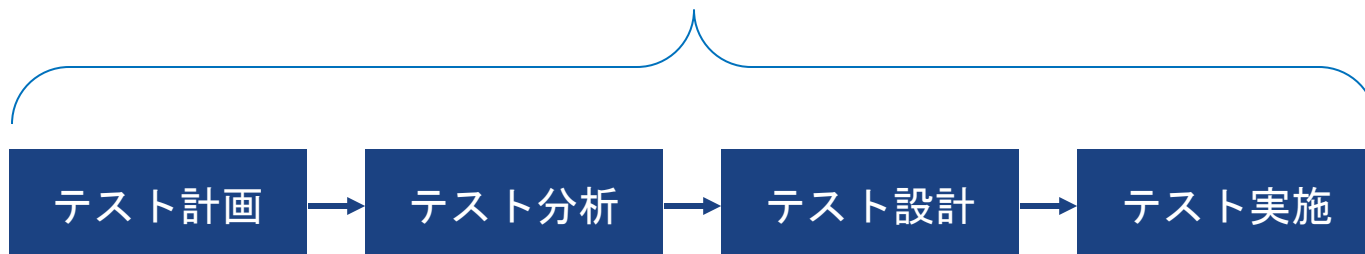
### 課題と期待

- QAチームの立ち上げ
- PM、エンジニア、デザイナーを巻き込んで、チームで品質保証をできる仕組み作り



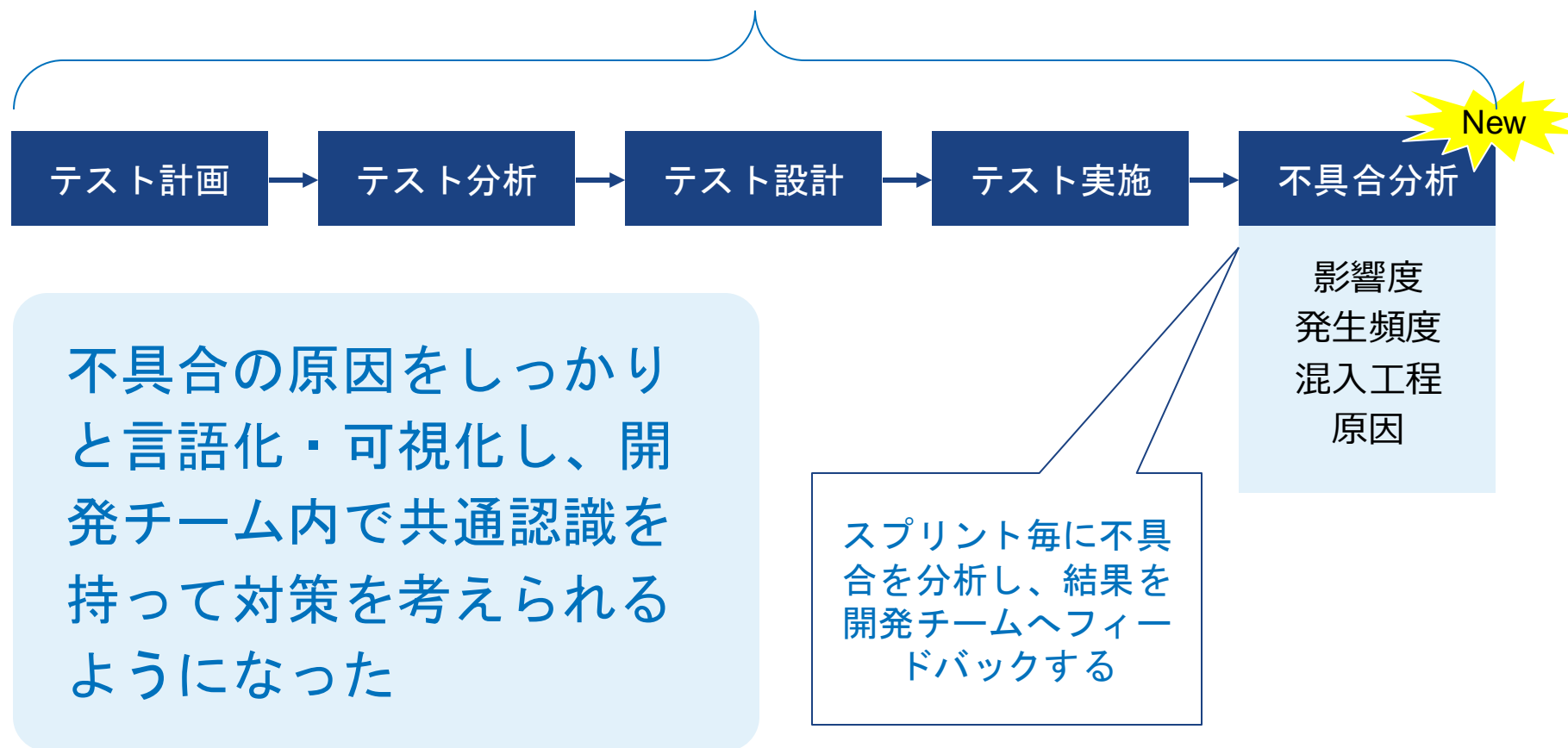
## 対策) 不具合分析と開発へのフィードバック

インプロセスQAを配置  
スプリント内でテスト活動



# 対策) 不具合分析と開発へのフィードバック

インプロセスQAを配置  
スプリント内でテスト活動



# 事例3) スタートアップのQA体制立ち上げ

## プロダクト

- モバイルオーダーシステム
- メガベンチャーにて新たに立ち上げた、社内スタートアップ
- 試験導入3店舗
- 数ヶ月後にはプレスリリースが迫る

## 開発チーム

- 10人規模
- 週1回リリース
- インクリメンタル開発
- テストコードあり
- 手動テストのプロセスは曖昧
- QAに馴染みがない
- バグは多くはないがゼロでもない

## 課題と期待

- どんなテストをどこまですれば良いのか自信がない
- このまま正式リリースし、規模を拡大していったら大丈夫かという不安を解消したい

# 対策) テスト活動をシフトレフト

before

企画

開発

要件  
定義

設計

実装

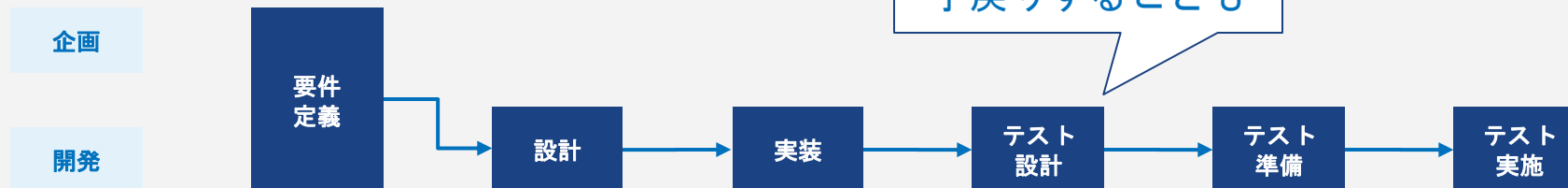
テスト  
設計

テスト  
準備

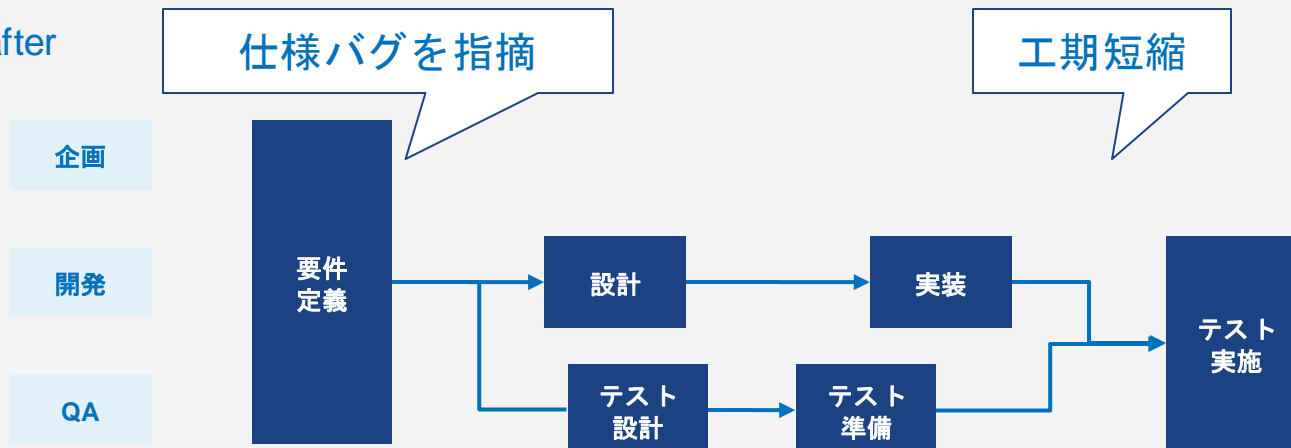
テスト  
実施

# 対策) テスト活動をシフトレフト

before



after



まとめ

# まとめ

## アジャイルQAの必要性

専門性と柔軟性をもったQAは、品質向上と開発生産性向上に効く

## 現場は千差万別

教科書通りにすべてをあてはめようとしても上手くいかない  
まず困りごとを見つけて協力の姿勢を見せることが大切

## 小さな一歩を大切に

銀の弾丸はないけれど、少しずつでも改善していくことで必ず良くなる

# 質疑応答



ご清聴ありがとうございました



アンケートにご協力をお願いいたします